

2017 年 3 月 1 日

報道関係者各位

アートフェア東京 2017 関連プログラムと会場内展示を追加発表

前回のプレスリリース vol.5 (2017 年 1 月 11 日配信) に続き、「アートフェア東京 2017」会場内における企画展示と、関連プログラムを発表します。

- ・ ランボルギーニのアートカーが登場！女性テクノロジーアーティスト スプツニ子! 氏とのコラボレーションが決定
- ・ ミャンマー・アーティスト × Installation kaguya
- ・ ポーラ芸術振興財団から 4 名の作家を紹介
- ・ 「PROJECTS を巡るガイドツアー supported by Deutsche Bank Group」参加申込受付開始！
- ・ トークプログラム日程発表
- ・ 「一時画伯」によるキッズ・プログラム
- ・ 「アートフェア東京」と天王洲を結ぶシャトルバスの運行時間発表

ランボルギーニのアートカーが登場！

■ 女性テクノロジーアーティスト スプツニ子! 氏とのコラボレーションが決定

ランボルギーニ・ウラカン RWD スパイダーが、スプツニ子! 氏とのコラボレーションによって、唯一無二のアートカーとして、アートフェア東京 2017 ロビーギャラリーに登場します。

ランボルギーニ・ウラカン RWD スパイダーは、圧倒的な存在感と、洗練されたスタイリッシュなボディのスーパーカー。そして、スプツニ子! 氏は、2012 年から続くアートフェア東京のアートカーの歴史の中で、初の女性アーティストです。

堂々たるランボルギーニと、エレガントな女性テクノロジーアーティストのコラボレーションは、「パワーウーマン」と称され女性の社会進出が目覚ましい今の“時代”にふさわしいコラボレーションです。このアートとスーパーカーの融合は、アートフェア東京に新たな歴史を創ります。



Lamborghini Huracán RWD Spyder



スプツニ子！

1985 年東京都生まれ、ボストン・東京在住。英国インペリアル・カレッジ数学科および情報工学科を卒業後、英国王立芸術学院(RCA)デザイン・インタラクションズ専攻修士課程を修了。在学中より、テクノロジーによって変化していく人間の在り方や社会を反映させた映像インスタレーション作品を制作。最近の主な参加展覧会に「第 3 回瀬戸内国際芸術祭」(自身初の常設作品を発表)、「NEW SENSORIUM」(ドイツ ZKM アートセンター、2016)、「宇宙と芸術」(森美術館、2016)、「Collecting Future Japan」(英国 V&A ミュージアム)など。2013 年よりマサチューセッツ工科大学(MIT) メディアラボ 助教に就任し Design Fiction Group を創設。これまで英国 Victoria&Albert Museum や金沢 21 世紀美術館などに作品がコレクションされている。

■ ミャンマー・アーティスト × Installation kaguya

ミャンマーを代表するアーティスト「U Lun Gywe (ウー・ルン・ジウエ)」と、「東京大学大学院農学生命科学研究科木質材料科学研究室」設計の「Installation kaguya」がコラボレーションします。

世界有数の竹の産地であり豊かな自然に囲まれた神秘的な国、ミャンマーを代表する抽象画家「U Lun Gywe (ウー・ルン・ジウエ)」は、のどかなミャンマーの風景、美しい踊り子たち、そして疾走する馬たちを描き続けている彼の作品の根底には一貫した「愛」と「優しさ」を感じさせます。そのU Lun Gywe (ウー・ルン・ジウエ)の作品が、「Installation kaguya」の中に展示されます。ミャンマーの悠久の大自然を感じさせる「竹」素材と、日本の歴史や文化を連想させる「Installation kaguya」との展開は、時空も国境も越えた印象を与え、ミャンマーの深い文化性を感じることができるでしょう。

「Installation kaguya」のテーマは、日本最古の物語とされている「竹取物語」。最先端の木質構造学からなるパビリオンは、日本唯一の模様からミラクルバンブーと呼ばれる虎斑竹(竹虎)で構成されます。作品を目の前にした時、竹取の翁になったような気持ちで幻想的な空間に誘います。3月16日(木)は、草木に使える花土(はなのふ)として、大自然や神仏に花を献じる珠寶(しゅほう)氏による献花が行なわれます。



U Lun Gywe
「Rain and Horsecarts」



入場無料ロビーギャラリーで展開 ▶

U Lun Gywe (ウー・ルン・ジウエ)

1930年にミャンマー、ヤンゴンに生まれ、ミャンマーで偉大かつ最も尊敬されている印象派画家。1964年に中国で制作を行ない、1971年東ドイツで絵画復元特別研究員として外遊。中国滞在は作家活動に強い影響を与え、中国水墨画の技術は、その後の油彩画や水彩画に取り入れられる。また、東ドイツ滞在時は、ベルリン、ドレスデン、ポツダムでヨーロッパ美術を学び、印象派絵画の虜となる。彼の作品は、自然の美しさとその人々を介することで喜びと調和を表し、ビルマの女性の妖艶さや、女性ダンサーの美しさ、自然の美しさを謳っている。ウー・ルン・ジウエは多くの展覧会に出品され、世界中で展示されてきた。ミャンマー国立博物館、シンガポール国立美術館、マレーシア国立アートギャラリーなど多くの美術館に収蔵されている。

花土 珠寶(はなのふ しゅほう)

2004年から14年まで、京都の慈照寺(銀閣寺)花方を務める。在任中の08年から14年まで、主にフランスや香港などでの国際文化交流プログラムを担当し、国や民間の文化施設や団体などと毎年交流。アメリカ、メキシコなどでも文化交流活動に関わる。2015年独立。草木に仕える花土(はなのふ)として、大自然や神仏、時、ひと、場所に花を献ずるなどの活動を続けている。2016年からは、世界の様々な国や地域で活動し、外務省が日本文化を海外で発信する事業「JAPAN HOUSE」にも関わる。2017年4月より、京都造形芸術大学美術工芸学科客員教授として教鞭をとる。

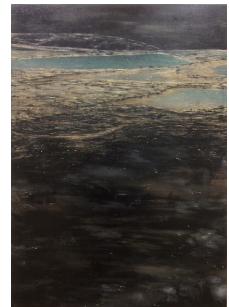
■ ポーラ芸術振興財団から4名の作家を紹介

公益財団法人ポーラ美術振興財団の出展ブースでは、「若手芸術家の在外研修に対する助成」を受けた4名の作家のグループ展をポーラ美術館館長の木島俊介氏による監修で展開します。海外で刺激を受け、進化を続ける気鋭の作家の作品が紹介されます。また、本展に出展する同作家4名による企画展示が、「感受と創発」というテーマのもと、ポーラミュージアムアネックス（銀座）にて開催されます。[3月3日（金）～3月26日（日）]

池田光弘

1978年 北海道生まれ
2004年 武蔵野美術大学油絵学科卒業
2006年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了
第21回ホルベイン・スカラシップ 奨学生
2013年 ポーラ美術振興財団在外研修員（ベルリン）

池田光弘
「Portrait of Place Turkey no.3」
2016年 油彩 キャンバス



高木彩

1977年 千葉県生まれ
2002年 女子美術大学大学院美術専攻科修了。福沢一郎賞受賞
2005年 大村文子基金女子美パリ賞受賞。パリ国際芸術都市滞在
2007年-2010年 文化庁新進芸術家。海外研修制度派遣研究員（パリ）
2011年 公益財団法人ポーラ美術振興財団 在外研修員（パリ）
2012年・2015年 公益財団法人野村財団 芸術文化助成（パリ）

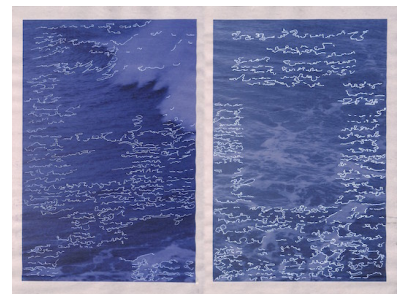
高木彩
「Par-dela. 『沈思する黒』」
2016年 油彩 キャンバス



彦坂敏昭

1983年 愛知県生まれ
2005年 京都造形芸術大学情報デザイン学科卒業
2009年 ポロック・クラズナー財団賞（アメリカ）
2015年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員
（イギリス、アイスランド）

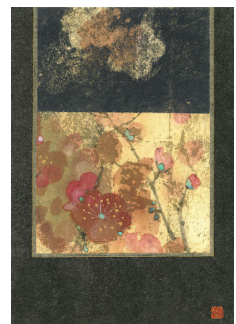
彦坂敏昭
「Newspaper Sketches of Ocean Waves」
2016年 紙にインクジェット、ペン



武田裕子

1983年 東京都生まれ
2012年 東京藝術大学大学院文化財保存学 専攻保存修復
日本画博士後期課程修了
野村美術賞受賞
2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団 在外研修員(中国)
2014年 中国美术学院中国画系花鳥画 高級進修生修了
2015年-現在 東京藝術大学大学院
文化財保存学保存修復日本画研究室 教育研究助手

武田裕子 「窓」
2017年 紙本彩色



監修：木島 俊介

ポーラ美術館館長。1939年鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、美学・美術史専攻。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。群馬県立近代美術館館長及び群馬県立館林美術館館長、共立女子大学教授等を務め、現在、同大学名誉教授、東急文化村ザ・ミュージアム プロデューサー。

■「PROJECTS を巡るガイドツアー supported by Deutsche Bank Group」参加申込受付開始

1組の作家が選出され個展を展開する「PROJECTS」セクション（協賛：ドイツ銀行グループ）では、会期中の3月18日（土）に、一般来場者向けのツアーを行ないます。個展形式の本セクションだからこそ見えてくるギャラリーと作家の関係性や個々の作家の特徴をより多くの方に知って頂く、絶好の機会です。コレクションをこれから始めたいという方にもおすすめの、作品購入のきっかけとなるようなセクションです。

主催：一般社団法人 アート東京

協賛：ドイツ銀行グループ

場所：South Wing 内 PROJECTS セクション 各ブース

日程：3月18日（土）

定員：10名（応募者多数の場合は先着順となります）

ナビゲーター：北島輝一

（アートフェア東京 2017 マネージング・ディレクター）

申込受付方法：アートフェア東京 HP よりオンライン申込

www.artfairtokyo.com/xxxxxx



（イメージ画像）

ツアー1：「身体性と偶然性」 11:30～12:25*

[ギャラリー名 （作家名）]

近代絵画から脱皮し、絵の具をキャンバスに乗せるアクションに意識を向けた時、即興的な面白さが生まれます。

筆のコントロールと偶然性の間のユニークなバランスに注目です。

[SHUMOKU GALLERY（富永祥烟）] - [Yoshimi Arts（館 勝生）] - [HARMAS GALLERY（高橋大輔）] - [雅景錐（詫摩昭人）]

ツアー2：「ポップと再構成」 12:30～13:25*

グローバル化する世界で大衆にアプローチし、そこから分解、再構成する作家の構成力と、遊び心を紹介します。

[四季彩舎（山村龍太郎毅望）] - [サテライツ・アート・ラボ（森 勉）] - [SNOW Contemporary（HITOTZUKI）] - [KEN NAKAHASHI（エリック・スワーズ）]

ツアー3：「分析と提案」 13:30～14:25*

画一化が進む現代の矛盾をとらえ、客観的な視点を向けることで、新たな提案が生まれます。作家の批判的な思考について掘り下げます。

[Satoko Oe Contemporary（金氏徹平）] - [ギャラリーヤマキファインアート（中山明日香）] - [Takashi Somemiya Gallery（奥田栄希）] - [FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート（金巻芳俊）]

各回とも開始5分前にメインインフォメーションカウンター（B2F）前集合

■ トークプログラム日程発表

一般会期中、3月17日（金）、3月18日（土）に、参加無料*のトークプログラムを開催します。

（*別途アートフェア東京 2017 の入場券が必要です。）

会場：AFT カフェラウンジ（アートフェア東京 2017 会場内）

3月17日（金）

■ 「Art Media Meeting」

アジアを中心としたアート雑誌や web サイトの編集長を招き、「各国のメディアからみた現在の東京のアートシーン」をテーマに、意見交換を行ないます。アートを伝える編集長たちは、ますます盛り上がる東京のアートシーンをどのように見ているのでしょうか。

【時間】 15:30 – 17:00

【登壇】 Zhang Ran （art net | DIRECTOR OF GREATER CHINA, PUBLISHER, ARTNET NEWS CHINA）
Kim Boggi （Art in Culture 編集主幹）
Zheng Wei （CANS 編集長代理）
Wu Jin （Hi ART 編集長）
吉田晃子 （芸術新潮 編集長）
一井義寛 （アートコレクターズ 編集者）

【モデレーター】 墨屋宏明（一般社団法人 アート東京 マーケティング&コミュニケーションズディレクター）

【主催】 一般社団法人 アート東京

3月18日（土）

■ とに～&いのちの「アートフェア東京でちくちく」

「芸術新潮」企画。ちくちく美術部 公開トークイベント。芸術新潮誌に連載の「マンガ展評 ちくちく美術部」で

おなじみの、とに～氏と、伊野孝行氏による公開トークイベントです。

【時間】 13:00 – 14:00

【登壇】 とに～（アート・テラー）
伊野孝行（イラストレーター）

【モデレーター】 吉田晃子（芸術新潮 編集長）

【主催】 芸術新潮／一般社団法人 アート東京

■ 「2017 年芸術祭の楽しみ方～街をまるごと楽しむ都市型芸術祭」

国内外共に大型芸術祭が目白押しの 2017 年。都市を舞台に開催される札幌国際芸術祭 2017 とヨコハマトリエンナーレ 2017 関係者によるアートと街歩きを楽しめる都市型芸術祭の楽しみ方のトークです。

【時間】 14:30 – 15:30

【登壇】 佐藤直樹（アートディレクター／札幌国際芸術祭 2017 企画メンバー）
帆足亜紀（横浜美術館国際グループグループ長／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 プロジェクト・マネージャー）

【モデレーター】 山本敦子（アートプロデューサー／チラシミュージアム ディレクター）

【主催】 チラシミュージアム／一般社団法人 アート東京

■ 「現代アートをめぐる課題と芸術賞のゆくえ～Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA 創設特別トーク～」(仮)

Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA 創設を記念し、アジア発世界で活躍する、アーティスト像をディスカッションします。

【時間】 17:30 – 18:45

【登壇】 秋元雄史（本アワード 審査員／東京藝術大学大学美術館 館長／金沢 21 世紀美術館 館長）
山峰潤也（本アワード 選考委員／水戸芸術館現代美術センター 学芸員）
高橋龍太郎（医療法人社団こころの会 理事長／アート・コレクター）
宮津大輔（アート・コレクター／京都造形芸術大学 客員教授）

【モデレーター】 小澤慶介（本アワード ディレクター／キュレーター）

■「一時画伯」によるキッズ・プログラム

3月19日（日）、非営利団体「一時画伯」による子ども向けアート・ワークショップが開催されます。東日本大震災をきっかけに発足した「一時画伯」は、震災以降、アートから遠ざかってしまったり、触れる機会がもともと少ない子どもたちを対象に、アートやアーティストとともに過ごす時間を各地で創出しています。「アートフェア東京2017」では、木彫や絵画を中心に活動するアーティスト・尾花賢一が「一時画伯」に初登場！シールやハサミをつかって、オリジナルの怪人「木人（ぼくじん）」の積み木をつくるプログラムでは、子どもたちに豊かな創造性を自由に発揮してもらいます。

一時画伯vol.31：尾花賢一によるアート・ワークショップ

参加無料/予約申込制

定員：15名

対象年齢：4歳～13歳(おもにハサミをつかって制作します)

開催日：2017年03月19日

午前の部 ▶ 10：30～12：00

午後の部 ▶ 13：30～15：00

会場：AFTカフェラウンジ

募集期限：2017年03月17日18:00（一時画伯HPより）

一時画伯ウェブサイトにて申込み。

応募者多数の場合、先着順となります。

協賛：ドイツ銀行グループ



(c)尾花賢一



(写真：過去の「一時画伯」ワークショップ風景)



担当アーティスト：尾花賢一



1981年 群馬県生まれ

2004年 筑波大学芸術専門学群洋画専攻 卒業

2006年 筑波大学大学院芸術研究科洋画コース 修了

〔個展〕

2016年 Tokyo Wonder Site Art Cafe WINDOWS / トーキョーワンダーサイト アートカフェ

2015年 「In the night time」 / GALLERY MoMo Projects（東京 六本木）

2014年 「あたらしい冬」 / NANATASU GALLERY（東京 西麻布）

2013年 「Day light」 / NANATASU GALLERY（東京 西麻布）

2009年 「スプートニク」 / カフェ NOMAD（東京 根津）

2006年 「暗い森」 / PUNCTUM Photo+Graphix Tokyo（東京 京橋）

■「アートフェア東京」と天王洲を結ぶシャトルバスの運行時間発表 協賛：寺田倉庫

「アートフェア東京 2017」会場（東京国際フォーラム：有楽町）と、注目のアートのスポットが集まる天王洲エリアを結ぶシャトルバスが運行します。天王洲は、現代アートギャラリーが集まる「TERRADA Art Complex」、有名コレクターによる「マイコレクション展」を開催する「T-Art Gallery」、国内唯一の建築模型専門ミュージアム「建築倉庫ミュージアム」、建築家・隈研吾氏が店舗デザインを手がけた伝統画材ラボ「PIGMENT（ピグモン）」などアートファンが楽しめる施設が目白押しです。

【乗降場所】

東京国際フォーラム：東京国際フォーラム 1 階 バス停留所

天王洲エリア：寺田倉庫 T-Art Gallery 前

【運行時間】（30 分間隔で運行）

3 月 17 日（金）11：30～19:00

3 月 18 日（土）11：30～19:00

3 月 19 日（日）11：00～16:00

【アートフェア東京 2017 開催概要】

名 称： アートフェア東京 2017 (英語表記：ART FAIR TOKYO 2017)

主 催： 一般社団法人 アート東京／テレビ東京／BSジャパン

企 画 内 容： 国内外コマースギャラリーによる美術品の展示及び販売

開 催 日 程： 2017 年 3 月 16 日 (木) ～ 3 月 19 日 (日) 4 日間

ファーストチョイス	3 月 16 日 (木)	16 : 00 ～ 18 : 00
オープニングプレビュー	3 月 16 日 (木)	18 : 00 ～ 21 : 00
プレスプレビュー	3 月 16 日 (木)	16 : 00 ～ 21 : 00
特別先行入場	3 月 17 日 (金)	11 : 00 ～ 13 : 00
一般会期	3 月 17 日 (金)	13 : 00 ～ 20 : 00
	3 月 18 日 (土)	11 : 00 ～ 20 : 00
	3 月 19 日 (日)	10 : 30 ～ 17 : 00

会 場： 東京国際フォーラム・ホールE 及びロビーギャラリー (予定) (東京都千代田区丸の内 3-5-1)

出 展 者 数： 150 軒 (ギャラリーズ：138 軒、プロジェクト：12 軒)

入 場 料： 1DAY パスポート (当日) 2,800 円 (税込) / 1DAY パスポート (前売り) 2,300 円 (税込)

後 援： 内閣府／外務省／経済産業省／文化庁／観光庁

アフガニスタン・イスラム共和国大使館	ドイツ連邦共和国大使館	ニカラグア共和国大使館
在日アルゼンチン共和国大使館	ホンジュラス共和国大使館	ノルウェー王国大使館
駐日アルメニア共和国大使館	駐日ハンガリー大使館	パキスタン・イスラム共和国大使館
オーストラリア大使館	インドネシア共和国大使館	パラオ共和国大使館
在日アゼルバイジャン共和国大使館	イラン・イスラム共和国大使館	駐日パナマ共和国大使館
駐日バーレーン王国大使館	駐日アイルランド大使館	ペルー共和国大使館
バングラデシュ人民共和国大使館	イスラエル大使館	駐日フィリピン共和国大使館
ベリーズ大使館	駐日イタリア大使館	ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁
ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	駐日ジャマイカ大使館	サモア独立国大使館
駐日ブラジル大使館	ケニア共和国大使館	サンマリノ共和国大使館
ブリティッシュ・カウンシル	駐日韓国大使館 韓国文化院	セネガル共和国大使館
駐日ブルガリア共和国大使館	駐日ラトビア共和国大使館	シンガポール共和国大使館
ブルキナファソ大使館	レバノン共和国大使館	スペイン大使館
カナダ大使館	レソト王国大使館	スイス大使館
チリ共和国大使館	マケドニア共和国大使館	シリア・アラブ共和国大使館
中華人民共和国駐日本国大使館文化部	マダガスカル共和国大使館	タイ王国大使館
コロンビア共和国大使館	マレーシア大使館	東ティモール民主共和国大使館
デンマーク大使館	在日メキシコ大使館	チュニジア共和国大使館
ジブチ共和国大使館	モザンビーク共和国大使館	アメリカ合衆国大使館
ドミニカ共和国大使館	駐日ミャンマー連邦共和国大使館	ウズベキスタン共和国大使館
フィンランドセンター	ナミビア共和国大使館	
在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本	オランダ王国大使館	

日本経済新聞社／文化放送／日本赤十字社／京都府／島根県／京都市／金沢市／富山市

協 賛： 寺田倉庫／ドイツ銀行グループ／株式会社モリモト／株式会社三井住友銀行

企 画 協 力： 東京ガールズコレクション実行委員会

パートナリエアライン：全日本空輸株式会社

メインパートナーホテル：パークホテル東京

コーポレティブメディアパートナー：毎日新聞社

コーポレートパートナー：公益財団法人 ポーラ美術振興財団

オフィシャルファニチャー：株式会社イロコデザインジャパン

協 力： ラーソン・ジュール・ニッポン株式会社／ランボルギーニ青山／レス&モア オーダーメイド洋服／ラグジュアリーカード

株式会社モトックス／旭酒造株式会社／ボンデザール／アークヒルズクラブ／六本木ヒルズクラブ／スイス政府観光局

特別協力美術館：出光美術館／群馬県立近代美術館／サントリー美術館／戸栗美術館／原美術館／ポーラ美術館

三菱一号館美術館／森美術館／横浜美術館

[2017/3/1 現在]

公式サイト： <http://artfairtokyo.com>

お 問 合 せ： 一般社団法人 アート東京 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル 4

Tel.03-5797-7912 Fax.03-5797-7913 E-mail. info@artfairtokyo.com

アートフェア東京とは

アートフェア東京は、毎年春に東京で開催されている国内最大級の国際的なアート見本市。国内外の厳選されたギャラリーが出演し、古美術・工芸から、日本画・近代美術・現代アートまで、幅広いジャンルの作品が展示・販売される。会期中は、歴史に紐づいた日本のアートを発信するだけでなく、東京のアートシーンやマーケットの“今”を伝える企画展示、関連するシンポジウムやパーティーを都内各所で開催する。国際的で多様なアートマーケットのプラットフォームであるアートフェア東京は、アートファンやアート関係者のみならず、各国大使、行政関係者、経済界の主要な人々の情報交換・社交の場として、多くの来場者が訪れる。(2016 年実績:56,300 人)

一般社団法人 アート東京 広報担当： 島田 裕子 (シマダ) / 三木 茜 (ミキ) / 李 (リ) (海外)

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階

TEL: 03-5797-7912 / FAX: 03-5797-7913 / E-MAIL: press@artfairtokyo.com